

令和7年度

川島小学校  
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○学ぶ喜びを実感し、自ら学び続ける力を身に付けた子どもの育成  
ー自ら学び、発信し、互いを高め合う教師集団

校長

学力向上推進員

【各校の取組状況の把握について】

全職員による参観授業や実践報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的・基本的な学習課題に対し、多くの児童が積極的に取り組むことができている。 ●学習規律のうち、チャイム着席は定着しつつあるが、注意を持続させることが不十分な児童がいる。	・人の話を最後までしっかりと聞き、学習内容を習得しようと取り組むことができる。 ・川島小学校のユニバーサルデザイン(学習規律)を実践することができる。	・川島つ子チャレンジプロジェクト(SWPBS)の取り組みを継続し、話を聞く態度を定着させる。 ・川島小学校のユニバーサルデザイン(学習規律)を徹底することで、学習規律の定着を図る。 ・効果的にICT機器を活用し、よりわかる・できる授業を展開する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○積極的に発言できる児童が増えてきた。ペア学習やグループ活動などの場面では、活動に参加し表現する児童も多い。 ●語彙が乏しく伝えたいことを相手に伝えるために、適切な言葉を使い表現することが難しい児童もいる。 ●課題に取り組むにあたり、根拠を元に考えを深めていくことが苦手な児童が多い。	・課題や問われていることに対して、自分の考えをノートやワークシートに書き、学習のまとめをすることができる。 ・友達の考えや意見を聞き、自分の考えと比べたり、関連付けたりして、適切に表現することができる。 ・適切な場面で、適切な言葉が使えるように、言葉の大切さを理解し、多くの語彙を身につけることができる。	・ノートに書く基本形[めあて、学習内容(自分の考え)、振り返り]をもとにしたノート指導を充実させ、自分の考えをまとめる力の定着を図る。 ・学習形態を工夫し、ペア学習やグループ学習、タブレット等を活用して、考えや意見を深め合う場面を増やす。 ・シンキングツールを使ったり、書き出しを示したりすることによって、自分の考えを表現できる機会を増やす。 ・教科書の巻末資料を活用したり、辞書引きや読書活動を充実させたりして、語彙を増やす活動を行う。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に真面目に取り組む自分の考えを発言できる児童が増えてきている。 ○自ら進んで読書をする児童がいる。 ●授業で自分の意見や考えを発信したり、他者の意見を取り入れて考えを深めたりすることが、苦手な児童が多い。 ●個々の読書量は、増えてきているが、発達段階に応じた読書ができている児童が少ない。	・自ら課題を持ち、課題解決をすることができる。 ・自他の考えのよさを見付け、自分の思いや考えを深めることができる。 ・望ましい読書習慣を身に付け、発達段階に応じた読書ができる。	・自他の見方・考え方を働かせるために、児童が比較・分類・関連付け等、様々な思考に取り組むよう発問や指示を工夫する。 ・ICT機器やホワイトボードの活用方法を工夫・改善し、対話的な学びを推進する。 ・児童が好きな本を紹介し合う等の活動を行い、読書意欲が高まる機会を増やす。また、市立図書館との連携も引き続き行い、さまざまなジャンルの図書に出会える機会を増やす等、読書環境を整える。			